

熊建労5400人の力を合わせた

熊本地震救援ニュース

2016年5月13日(金)

第17号

発行 村上久義教宣部長
TEL096-283-7811

全木協が木造仮設住宅を正式受注 大工職を中心に就労者の募集開始



臨時本部執行委員会で全木協への参加を確認

熊本県と全木協は5月6日に木造仮設住宅の建設に向けて「災害協定」を締結した

熊本地震を受けて熊本県は木造仮設住宅を建設する「災害協定」を、全国木造建設事業協会（全木協）と6日に締結。断熱などで質が高く割安な木造応急仮設の建設を拡大し県産木材、畳材を使って復興をはかる

全木協とはどんな団体か

全国建設労働組合総連合：組合員数約62万人と一般社団法人JBN・全国工務店協会：会員数約3000社（建設業界最大の労働組合と日本最大級の工務店組織）で構成される組織

木造仮設への職人送り出しの対応

①供給する職種：大工職

②労働条件：賃金26,000円/1日、交通費1000円、

※ 福利厚生費は賃金に込、建退共はなし、宿泊費は全木協負担

労働時間は朝8時～18時 休憩120分

指揮命令は全木協の幹事会社（監督）のもと従事する

宿泊費は必要に応じ全木協負担

全木協熊本県支部の主幹事会社エーコープと一人ひとり労働契約を結ぶ

※ 雇入れ通知をだす、労災保険適用

③供給日時：5月下旬着工予定（山都町）

④支部・ブロック単位での説明会の開催

内容：総連作成の労働者供給のDVD（15分）

上記の内容の説明

申込・就労希望日、就労、支払いなどの流れの確認

1、被害状況（該当支部）

5/12 19:00 現在

	菊鹿	阿蘇	東部	西部	宇城	計
ケガ	0	0	7	6	10	23
家 全壊	1	1	64	11	6	83
半壊 瓦・一部	11		151	30	138	330
地盤沈下 液状化		1 (川沿い)				1
土石流避難		4				4

(1) 被災地の状況

- 機関紙が届いた仲間から半壊や一部損壊の情報が届きはじめた。
- 小・中学校、高校の授業が再開し、被害の少ない地域や県外に避難していた子ども達が被災自宅に戻ってきた。

(2) 被災した仲間の要望（また地域住民からの要望）

- ブルーシート（厚手）の需要増。（強風により薄手のシートが直ぐに破れてしまっている）

2、支援活動

(1) 支援

- 全愛知建設労働組合から支援物資が届きました。

<何か困ったことがあれば熊建労まで連絡を>

- ・熊建労 東部支部 熊本市東区健軍 2-10-11 TEL096-365-6626
- ・熊建労 西部支部 熊本市西区春日 7-1206-14 TEL096-283-7811
- ・熊建労 宇城支部 宇土市花園町 205 番 1 TEL0964-22-1904

屋根瓦補修等で、転落事故が起きています。必ず労災加入を！

木造仮設住宅の建設には 熊建労の組合員でなければ従事できません

4月から予定していた拡大月間が、熊本地震の影響で休止状態になっていましたが、5月9日から6月18日までの期間で開催することになりました。

5月11日の熊本県ホームページに、全建総連が主体となる全国木造建設事業協会（全木協）に、木造仮設住宅の建設を発注の記事が掲載され、熊建労内での大工職を中心とした就労者の募集が始まりました。木造仮設工事に参加できる就労者は、全建総連の組合員であることが条件です。結果、熊本県では、熊建労の組合員であることが就労条件となります。

これから震災復興を行っていくうえで、全国の仲間の皆さんからまだまだ多くの支援を頂かなくてはならなくなると思いますが、ピンチをチャンスに変えて『熊本がんばっとる』と思われるような拡大月間にしていきます。

「木造仮設は、熊建労に入るとと出来るもんな」と現場で広め、1人でも多くの仲間に、熊建労・全建総連の良さを知ってもらえる声掛けも進めていきます。